
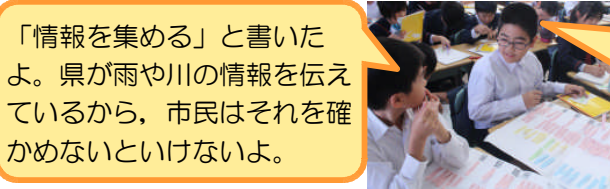



第4学年 社会科「みんなの力で守ろう わたしたちの暮らし」

学習指導者 網野 未来

<p>主張点</p>	<p>平成16年の台風に着目して、対処や備えについて学んでいく際に、家庭での聞き取りや自分の地域の取組と実態を調べることで生活と関連付けられるようにしました。こうすることで一人一人の防災意識を高めることの大切さに気づき、坂出市のよりよい防災の在り方を切実に考えていけるようにしました。</p>
<p>前時までの学び</p>	<p>台風から人々の命を守るための、家庭や地域、市や県、国の取組を聞き取り調査や資料を通して調べてきました。そして、分かったことをマイタイムラインにまとめ、公・地域・市民が協力して台風から人々の命を守るために取り組んでいることを捉えました。</p>
<p>〈課題設定以前〉 1 学習課題を確認する。</p>	<p>単元の学習計画に沿って市民→地域→市や県や国の順に広がることを同心円状の図に視覚化した<u>これからボード</u>と台風発生から上陸までのそれぞれの立場による行動を時系列にまとめた<u>マイタイムライン</u>の内容をすりあわせ、市や地域の取組を見ると市民にできそうなことが他にもあることに気付かせることで本時の学習課題を設定しました。</p>  <p>タイムラインにまとめた坂出市の取組を見ると、市民にできることが他にもありそうだよ。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> <p>学習課題：全体を見て、市民に他にできることを考えよう</p> </div>
<p>〈課題解決中〉 2 自分たちでできることを考え、話し合う。 3 自分たちの行動ができているか振り返り、吟味する。</p>	<p>既習事項を基に、市民にできることを再考して付箋紙に書き、<u>マイタイムライン</u>に付け足しました。友達との話し合いの際には、「防災訓練に参加する」や「地域の人と助け合って避難する」といった付箋紙が付け足され、その理由について交流しました。話し合いを通して、自分では気付かなかった市民がとるべき行動に気付くことができ、台風から命を守るためのついて考えを深めていきました。</p>  <p>「情報を集める」と書いたよ。県が雨や川の情報を伝えているから、市民はそれを確かめないといけないよ。</p> <p>なるほど。僕は、「持ち物を最小限にする」と書いたよ。「地域のお年寄りを誘う」もいいんじゃないかな。</p>
<p>〈課題解決後〉 4 学習を振り返る。</p>	<p>分かったことと分かった理由について振り返りました。自分が考えていなかったことに気付かせてくれた<u>今日のキラリさん</u>を選びました。そうすることで、友達の考えのよさや、資料を詳しく見ると新たな発見があることに気付けるようにしました。</p>  <p>市民ができることは助け合うことで、特にお年寄りを早めに助けることが大切だと友達の発表で分かったよ。</p>
<p>考察</p>	<p>社会科でメタ認知を働かせるためには、社会への認識について見つめさせる必要がある。事実ではできるだけ具体が見えるように資料化することが重要である。</p>